

注意喚起（第2報）;

腹部および前胸部下方植込みデバイスのタブレットによる電磁干渉

- タブレットをデバイス及び体表面から離して操作すること
- 隔離距離は各タブレットによっても安全距離が変わる可能性があるため、各タブレットの取扱説明書・ホームページで提供されている安全情報をまず参照し、明確な記載がない場合は15cm とすること

第一報では可及的な方針を提示しましたが、日本不整脈心電学会で本事象を詳細に検討し、最終的な注意喚起文章が出されました。腹部植込みデバイスに関与する皆様方におきましては、患者様へのご指導をよろしく御願いたします。

また、電磁干渉は タブレットカバー・イヤホンケースなど身近にある様々な磁性体でも発生しうることを認識ください。実験的には日常使用される多くの磁性体がデバイスに影響を与える距離は15cm より短いことが示唆されています。

日本不整脈心電学会 HP 安全情報へのリンク：<https://new.jhrs.or.jp/blog/2025/02/10/wn20250210/>

